

# いのちを見つめる集い

2/22(木)  
第262回



講師：飯島恵道 師 長野県松本市東昌寺／住職 花園大学非常勤講師  
昭和38年信州生まれ。前職看護師、最終勤務病棟は緩和ケア病棟。

法務のかたわら、ケア集団ハートビート(任意市民団体)を組織し、臨床でのケア経験を社会内ケアにいかし、悲しみや苦しみにあたたかい社会の構築を目指して活動を続けております。ケア集団ハートビートでの活動の様子や、グリーフについてお話をさせていただきたいと考えております。

3/29(木)  
第263回



講師：飯島尚之 師 曹洞宗宗清寺／住職

昭和32年生まれ、駒澤大学法学部法律学科卒・大本山總持寺安居・曹洞宗両大本山ハワイ別院正法寺にて12年間国際布教師として赴任。

オリンピック開催予定やネット社会で急速な国際化と文化変化が起こりつつある日本。当初から多角的で国際化されていたアメリカ社会の一部であるハワイで展開される日本仏教をとおして、宗教(仏教)と日系人の信仰心について共に考えます。それは、人種・言語・宗教が異なる中で生き抜く日系人に日本人の未来像を垣間見ることが出来るからです。

4/26(木)  
第264回



講師：赤堀正卓 氏 「終活読本ソナエ」／編集長

1968年生まれ。静岡県出身。1991年産経新聞入社。編集局副編集長兼社会部デスクを経て、2013年「終活読本ソナエ」を創刊。20年以上にわたり宗教・葬送問題を取材テーマのひとつにしてきた。

終活専門季刊誌の編集作業を通じて見えてくる、「終活ブーム」の背景や今後の展開について考えてみます。終活雑誌の表紙になぜ檀蜜や堀北真希が登場したのか?前代未聞の「棺桶読者プレゼント」の反響は?イオン、ヤフーなど終活産業に進出をかける企業の最新動向とは?

5/24(木)  
第265回



講師：三嶋浩二 氏 NPO法人ドラマケーション普及センター／理事長

80年埼玉県生まれ。NPO法人ドラマケーション普及センターを設立。社会教育活動としてコミュニケーション教育に取り組んでいる。

「コミュニケーションなんて誰かから教わるものではない」と言われ続けながら活動をやってきてようやく最近言われなくなってきました。時代の変化によって必要なこと unnecessaryなことも変化します。コミュニケーション教育もその一つです。老若男女を問わず必要とされているコミュニケーション教育の現状とこれからについてお話しします。

## 大龍寺へのご案内

- 東京メトロ東西線「早稲田駅」②番出口より「夏目坂通り」を道なりに登る。(徒歩約7分)
- 都営地下鉄大江戸線「若松河田駅」若松口より左方「大久保通り」へ向かい「若松町交差点」から「夏目坂通り」を下る。(徒歩約7分)

仏教情報センターは、精神のよりどころとしての仏教を現代社会に生かすことを目的に、1983年(昭和58年)、首都圏在住の伝統仏教9宗派有志僧侶によって設立されました。現在150余名の僧侶がボランティアで参加し、『仏教テレフォン相談』を中心に活動しています。

